

平成28年度
函館市地域包括支援センター活動実績

目 次

○ 函館市の特徴と課題	1
【介護予防事業】	
○ 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	
1 健康づくり教室	2
2 住民への介護予防に関する広報・啓発活動	3
【包括的支援事業】	
○ 総合相談支援業務	
1 地域包括支援ネットワークの構築	4
2 実態把握	5
3 総合相談	6
4 保健福祉サービス等利用調整	7
5 住民に対する広報・啓発活動	7
6 高齢者見守りネットワーク事業実施状況	8
○ 権利擁護業務	
1 権利擁護相談対応状況	12
2 スキルアップ対策	15
3 住民等に対する広報・啓発活動	15
○ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	
1 包括的・継続的ケアマネジメント支援体制構築状況	16
2 介護支援専門員への個別支援	18
○ 地域ケア会議推進事業	
1 地域ケア会議開催状況	24
2 住民等に対する広報・啓発活動	29
【任意事業】	
1 家族介護支援事業	30
2 住宅改修支援事業	31

函館市の特徴と課題

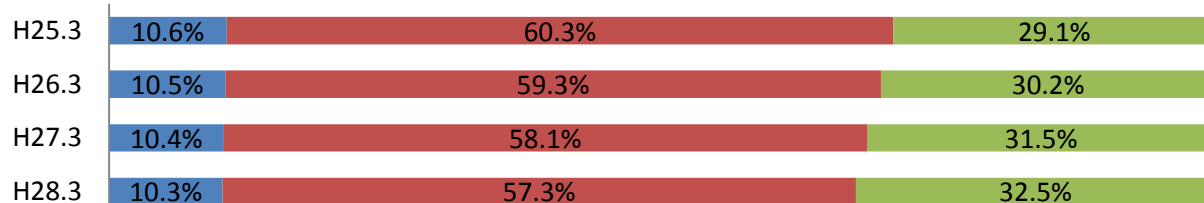
1. 人口の推移と年齢構成

(人)

	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3	割合 (%)
年少人口	29,264	28,645	27,977	27,356	26,580	10.1
生産年齢人口	165,893	161,560	156,780	152,760	149,062	56.5
高齢人口	80,106	82,325	84,871	86,657	88,064	33.4
(再掲)65～74歳	39,485	41,190	43,056	43,840	44,041	16.7
(再掲)75歳以上	40,621	41,135	41,815	42,817	44,023	16.7

年齢構成割合の推移

■ 年少人口 ■ 生産年齢人口 ■ 高齢人口



2. 世帯構成

H29.3末

	世帯数 (件)	割合 (%)
高齢者単身世帯	33,357	11.0
高齢者複数世帯	177,786	58.7
その他	91,831	30.3

3. 要介護認定の状況

	H27.3	H28.3	H29.3
要支援認定者(人)	7,031	7,159	7,029
要支援認定率(%)	8.3	8.3	8.0
予防給付実績(人)	4,347	4,465	4,464
給付率(%)	61.8	62.4	63.5

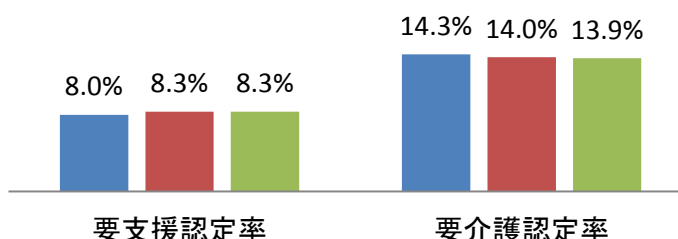
4. 介護保険サービス事業所数

H29.3末

居宅介護支援	125
地域密着型サービス	136

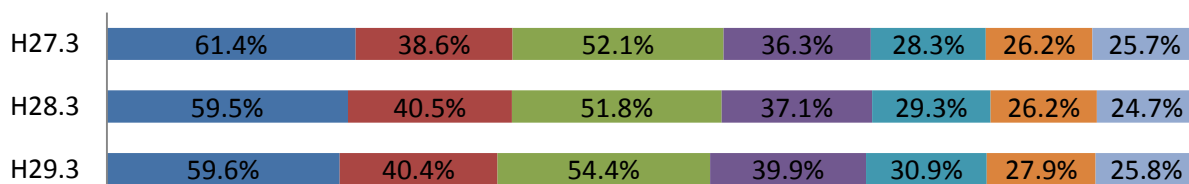
認定率の推移

■ H29.3 ■ H28.3 ■ H27.3



介護度の内訳の推移

■ 要支援1 ■ 要支援2 ■ 要介護1 ■ 要介護2 ■ 要介護3 ■ 要介護4 ■ 要介護5



【介護予防事業】高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

1 健康づくり教室

(1) 新規教室実施状況

(人)

センター名	実施回数	会場	従事者数			参加者数			1人の平均参加回数(回)	アンケート結果 (維持・向上した人の割合)				平成29年度の方向性 (平成28年度末時点)
			実数	延数	1回平均	実数	延数	1回平均		主観的健康観	運動・趣味活動	外出頻度	社会活動頻度	
あさひ	13	栄町会館	6	53	4.1	16	103	7.9	6.4	75.0%	87.5%	62.5%	87.5%	終了
こん中央	13	的場町会館	10	60	4.6	17	139	10.7	8.2	100.0%	100.0%	100.0%	90.9%	継続して開催支援
ときとう	13	時任町会館	7	53	4.1	13	137	10.5	10.5	100.0%	100.0%	55.6%	77.8%	継続して開催支援
	12	五稜郭町会館	6	46	3.8	16	122	10.2	7.6	72.7%	63.6%	63.6%	63.6%	継続して開催支援
ゆのかわ	12	日吉が丘町会館	6	29	2.4	24	136	11.3	5.7	78.6%	85.7%	92.9%	83.3%	自主活動グループへ移行
	13	日吉3丁目集会場	6	23	1.8	41	423	32.5	10.3	81.5%	92.6%	74.1%	85.2%	自主活動グループへ移行
たかおか	12	百寿会館	16	50	4.2	22	159	13.3	7.2	87.5%	100.0%	100.0%	87.5%	継続して開催支援
西堀	12	富岡1丁目町会	6	28	2.3	16	141	11.8	8.8	85.7%	71.4%	78.6%	71.4%	終了
	12	中道会館	12	63	5.3	13	85	7.1	6.5	85.7%	85.7%	85.7%	85.7%	終了
亀田	13	北美原町会館	9	39	3.0	27	200	15.4	7.4	88.2%	100.0%	88.2%	88.2%	継続して開催支援
神山	12	ひばりが丘集会所	22	40	3.3	14	132	11.0	9.4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	自主活動グループへ移行
	12	東山町会館	16	38	3.2	13	117	9.8	9.0	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	終了
よろこび	13	亀田港町会館	4	17	1.3	20	187	14.4	9.4	69.2%	100.0%	92.3%	92.3%	継続して開催支援
	15	亀田町民会館	8	23	1.5	21	178	11.9	8.5	83.3%	100.0%	91.7%	66.7%	継続して開催支援
社協	12	瀬田来町会館	11	36	3.0	18	119	9.9	6.6	62.5%	75.0%	100.0%	75.0%	終了
合計	189		145	598	3.2	291	2,378	12.6	8.2					
H27実績	191		67	511	2.7	310	2,728	14.3	8.8					

(2) 継続教室実施状況

センター名	実施年数	会場	支援回数	平成29年度の方向性 (平成28年度末時点)
あさひ	2年目	入舟町会館	22	自主活動グループへ移行
	2年目	サン・リフレ	12	終了
	3年目	末広町会館	11	自主活動グループへ移行
	4年目	弥生小学校	13	自主活動グループへ移行
	4年目	女性センター	21	自主活動グループへ移行
こん中央	2年目	新川町会館	23	継続して開催支援
	2年目	終末処理場集会所	12	自主活動グループへ移行
	3年目	特別養護老人ホーム松濤	22	自主活動グループへ移行
	3年目	上新川町会館	13	自主活動グループへ移行
	8年目	救護施設説明和園	20	継続して開催支援
ゆのかわ	4年目	ホテル湯の川	11	自主活動グループへ移行
たかおか	2年目	戸倉ヶ丘町会館	12	終了
亀田	2年目	美原商店街	22	自主活動グループへ移行
社協	2年目	柏野会館	7	自主活動グループへ移行
	2年目	川汲町会館	12	自主活動グループへ移行

・新規教室数は平成28年度より1教室多い15教室だったが、実参加者数、延参加者数はいずれも昨年度より少なく、参加者数が20名未満の小規模・中規模の教室が増加した。

・新規教室の15教室のうち、10教室は継続または自主活動グループへ移行の予定となっており、教室の開催準備時期から自主化に向けた支援を意識して支援を行った効果がみられた。一方、新規教室のうち5グループが終了となったが、継続開催を希望する参加者がいるなかで、リーダーの不在、会場確保や参加者の経済的な負担の問題で開催を継続できなかった教室も多かった。

・継続教室においても、16教室中12教室が自主活動グループへ移行の予定であり、地域の社会資源の拡充という視点でも効果的な事業運営ができたと考えられる。とくに、継続教室を多く抱えていた「あさひ」では、ボランティアの活用等により、長年継続教室として支援してきた教室の自主活動化へつながった。

※ときとう、西堀、神山、よろこびは実施なし

(参考) 自主活動グループ

センター名	新規教室 開始年度	会 場
あ さ ひ	H22	宝来町会館
	H23	船見第一町会館
こ ん 中 央	H22	千代台町会館
と き と う	H20	乃木町会館※
	H24	柏木町会館
	H24	梁川町会館
	H26	道営柳町団地
	H26	教育大函館校(八幡町)
ゆ の か わ	H21	湯川1丁目町会
	H23	湯川3丁目町会館
	H23	花園町団地4号棟(花園町団地)
	H25	日吉3丁目団地集会所
	H26	深掘町会館
	H26	川原町会館
た か お か	H22	根崎生活館(高松町親交会)
	H27	空港団地町会館
西 堀	H25	東富岡町会館
亀 田	H22	石川町会館
	H24	昭和町会館
神 山	H23	本通中央町会館
	H23	本通町会館
	H26	東山見晴団地町会館
よ ろ こ び	H23	追分町会館
	H24	桔梗町会館
	H25	北浜町会館
社 協	H24	中浜会館
	H26	恵山コミュニティセンター
	H26	社協戸井支所

※センターの独自事業として開始

2 住民への介護予防に関する広報・啓発活動

(回)

センター名	出前講座 講師派遣	広報紙・パンフレット 配布
あ さ ひ	8	4
こ ん 中 央	4	0
と き と う	4	3
ゆ の か わ	11	8
た か お か	1	5
西 堀	3	9
亀 田	1	5
神 山	2	2
よ ろ こ び	2	13
社 協	16	6
合 計	52	55
H27実績	34	16

・介護予防に関する広報・啓発については、平成27年度と比較して、ほとんどのセンターで啓発回数が増加している。とくに、出前講座や講師派遣においては、「はこだて賛歌de若返り体操」を活用した啓発機会が増加している。

【包括的支援事業】総合相談支援業務

1 地域包括支援ネットワークの構築

(1) 地域包括支援ネットワーク構築機関 (回)

センター名	懇談会	民児協 定例会	ふれあい 事業	町会 行事	※その他	合計	その他の内訳
あさひ	10	0	0	1	8	19	認知症地域支援推進員ネットワーク会議、法テラス函館地方協議会、青柳町交流サロン、認知症疾患センター(3センター)
こん中央	9	11	1	13	5	39	いこうかい函館、ケンゆのかわ施設説明会、地域ケア会議ヒアリング
ときとう	5	20	5	7	7	44	中央病院医療相談室、五稜郭病院医療相談室、伊藤メンタルクリニック、大妻高校、中部高校防災訓練、大野農業高校GH街との地域連携、亀田中学校職場体験
ゆのかわ	8	0	0	0	0	8	
たかおか	9	3	1	0	4	17	法人内相談員全体会議、リハ専門職との勉強会、道南認知症疾患医療連携協議会
西堀	13	2	0	2	4	21	中道第2町会老人クラブ定例会、法テラス函館地方協議会、サロンdeトーク、介護・医療連携会議
亀田	2	5	11	12	10	40	石川町在宅福祉事業会議、第4ブロック部会研修会、赤川町会役員会、教室事前打ち合わせ、函館市老人クラブ連合会女性部研修会
神山	12	2	0	2	10	26	神山町会健康サロン活動支援、本通中央町会交流サロン活動支援、コープさっぽろちょこっと茶屋打合せ、函館市老人クラブ連合会女性部研修会、神山老人会の健康ふれあい茶話会、難病者在宅療養支援学習会、こども食堂、放課後こども教室
よろこび	7	3	2	5	5	22	老人クラブ定例会、第4ブロック部会研修会、第1ブロック部会研修会、函館市老人クラブ連合会女性部研修会、桔梗小学校卒業式
社協	10	6	0	0	35	51	保健医療福祉連携会議、東部保健事務所連絡会、市民健康づくり推進員・ヘルスマイト合同研修会、自殺対策実務者会議、函館市老人クラブ連合会女性部研修会、戸井歯科診療所との懇談
合計	85	52	20	42	88	287	
H27実績	47	27	20	21	41	156	

(参考)

①地域密着型サービス事業所運営推進会議

センター名	事業所 数	参加 回数	(回)
あさひ	11	31	
こん中央	20	43	
ときとう	21	48	
ゆのかわ	15	59	
たかおか	8	27	
西堀	9	34	
亀田	16	66	
神山	6	20	
よろこび	15	46	
社協	8	24	
合計	129	398	
H27実績	91	366	

②地域ケア会議の参集者(関係分抜粋)

センター名	開催 回数	民生 委員	町会 役員	在宅 福祉	(回)
あさひ	8	36	34	2	
こん中央	9	19	28	11	
ときとう	12	14	16	19	
ゆのかわ	13	9	75	10	
たかおか	9	23	36	1	
西堀	7	21	15	3	
亀田	9	39	4	0	
神山	10	7	19	2	
よろこび	9	32	22	1	
社協	3	11	16	0	
合計	89	211	265	49	
H27実績	79	273	221	70	

- ・センターが10か所になったことから、全体のネットワーク構築回数は増加しており、前年度よりもきめ細やかな地区活動につながっていると思われる。
- ・多岐にわたる機関とネットワーク構築が図られており、センターによって特色があらわれている。
- ・民児協定例会や町会行事をととしてのネットワーク構築以外にも、地域ケア会議をととして、民生委員や町会役員、在宅福祉委員とのネットワーク構築は図られている。

2 実態把握

(1) 実態把握数の推移と高齢者人口に対する実態把握実施率

センター名	高齢者人口 (H29.3末)	把握人数	把握率
あさひ	7,745	841	10.9%
こん中央	8,845	1,097	12.4%
ときとう	9,033	1,013	11.2%
ゆのかわ	10,807	1,139	10.5%
たかおか	9,556	857	9.0%
西堀	7,467	860	11.5%
亀田	9,944	1,190	12.0%
神山	10,609	1,138	10.7%
よろこび	8,903	983	11.0%
社協	5,155	498	9.7%
合計	88,064	9,616	10.9%
H27実績	86,657	8,289	9.6%

(2) 項目別内訳

(人)

センター名	平成28年度実態把握数(A)				介護予防支援事業 (B/A)	地域支援事業 (C+D+E/A)	再掲:その他 (E/A)	計画数値に対する 達成率		
	予防 (B)	見守り (C)	モニタリング (D)	その他 (E)				計画数値	達成率	
あさひ	841	311	36	29	465	37.0%	63.0%	55.3%	824	102.1%
こん中央	1,097	571	37	18	471	52.1%	47.9%	42.9%	949	115.6%
ときとう	1,013	487	0	0	526	48.1%	51.9%	51.9%	960	104.9%
ゆのかわ	1,139	500	161	21	457	43.9%	56.1%	40.1%	1,140	99.4%
たかおか	857	303	193	9	352	35.4%	64.6%	41.1%	1,030	83.2%
西堀	860	200	318	9	333	23.3%	76.7%	38.7%	801	107.4%
亀田	1,190	525	225	14	426	44.1%	55.9%	35.8%	1,057	112.6%
神山	1,138	471	185	14	468	41.4%	58.6%	41.1%	1,119	101.7%
よろこび	983	426	41	13	503	43.3%	56.7%	51.2%	945	104.0%
社協	498	55	0	113	330	11.0%	89.0%	66.3%	550	90.5%
合計	9,616	3,849	1,196	240	4,331	40.0%	60.0%	45.0%	9,387	102.4%
構成割合	100.0%	40.0%	12.4%	2.5%	45.0%					
H27実績	8,289	2,896	1,170	163	4,060	34.9%	65.1%	49.0%	10,007	82.8%
構成割合	100.0%	34.9%	14.1%	2.0%	49.0%					

・把握率は昨年度よりも高くなっており、10センターにしたことの効果が見られている。実態把握数が約1,300人増加しているが、高齢者が約1,400人増えていることから、実態把握率が大幅には上がっていない。

・契約変更により訪問した際に、実態把握してくるケースが多かったことから、予防の割合が多くなっていると思われる。

・「ときとう」は高齢者見守りネットワーク事業の対象町がなかったにもかかわらず、計画数値を達成している。

・「ゆのかわ」「たかおか」(旧厚生院)については、実態把握数を増やすことに重点をおいていたセンターであるが、両センターの数を合わせると旧厚生院の平成27年度実績を上回っている。

3 総合相談

(1) 相談総合相談対応件数

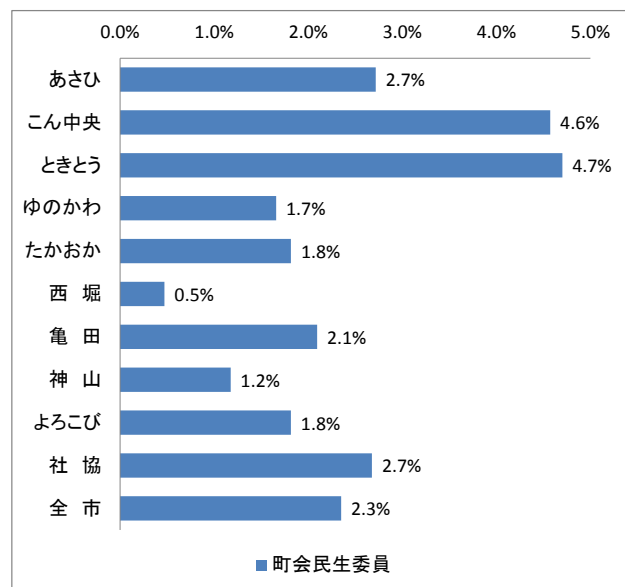
センター名	対象者 実件数	相談 延件数	(件)
あさひ	989	1,378	
こん中央	1,695	1,990	
ときとう	1,361	1,816	
ゆのかわ	1,852	2,410	
たかおか	1,263	1,651	
西堀	1,095	1,267	
亀田	1,789	2,483	
神山	1,423	1,702	
よろこび	1,520	1,872	
社協	978	1,307	
合計	13,965	17,876	
H27実績	12,004	15,331	

(2) 相談形態内訳(延) (件)

センター名	面接	電話	訪問	その他
あさひ	98	268	1,010	2
こん中央	109	554	1,294	33
ときとう	94	552	1,144	26
ゆのかわ	127	667	1,591	25
たかおか	161	434	1,046	10
西堀	91	461	693	22
亀田	152	651	1,617	63
神山	55	670	935	42
よろこび	142	322	1,402	6
社協	49	442	816	0
合計	1,078	5,021	11,548	229
H27実績	1,002	4,686	9,499	144

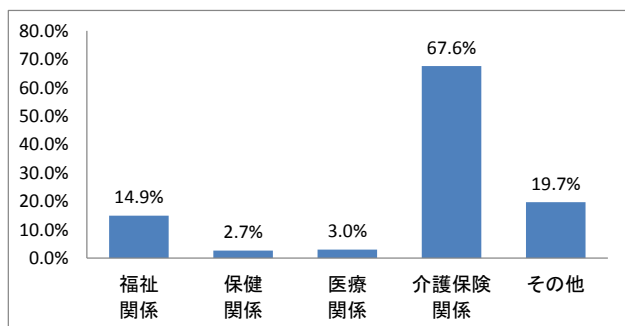
(3) 相談者の続柄内訳(重複あり) (件)

センター名	本人	家族 親族	町会 民生委員	関係 機関	その他
あさひ	978	584	37	256	155
こん中央	1,030	375	91	476	122
ときとう	930	495	64	230	97
ゆのかわ	1,785	904	40	376	212
たかおか	1,181	820	30	317	159
西堀	824	519	6	346	100
亀田	1,227	566	52	324	373
神山	1,244	679	20	495	83
よろこび	1,471	667	34	155	179
社協	852	170	35	238	12
合計	11,522	5,779	409	3,213	1,492
H27実績	9,946	4,932	399	3,058	1,084



(4) 相談内容内訳(重複あり) (件)

センター名	福祉 関係	保健 関係	医療 関係	介護保険 関係	その他
あさひ	170	3	24	792	402
こん中央	304	16	106	1,559	241
ときとう	295	7	43	1,350	121
ゆのかわ	207	9	75	1,626	597
たかおか	130	5	92	1,189	415
西堀	99	13	11	784	373
亀田	211	35	68	1,515	742
神山	170	3	8	1,296	275
よろこび	149	357	56	1,177	207
社協	858	14	40	473	54
合計	2,593	462	523	11,761	3,427
H27実績	2,463	506	562	9,489	3,053



・総合相談の件数は、平成27年度と比較して、対応件数が増加しており、センターが10センターになったこと十分に周知できた成果と考える。また、実態把握率の増加に向けて、積極的に訪問を実施した結果、訪問数の増加につながったと思われる。

・相談者内訳については、町会や民生児童委員からの相談が少ない状況。支援が必要な人の情報を早期にキャッチするためにも、顔の見える関係づくりや地域の気づきへのアプローチが重要である。

4 保健福祉サービス等利用調整

(1) 利用調整件数の推移

センター名	調整数	(件)
あさひ	212	
こん中央	175	
ときとう	216	
ゆのかわ	160	
たかおか	177	
西堀	122	
亀田	155	
神山	149	
よろこび	131	
社協	466	
合計	1,963	
H27実績	2,532	

(2) モニタリング実施状況

センター名	対象者数	実施数	実施率	(件)
あさひ	46	46	100.0%	
こん中央	36	36	100.0%	
ときとう	50	50	100.0%	
ゆのかわ	27	27	100.0%	
たかおか	22	22	100.0%	
西堀	17	17	100.0%	
亀田	28	28	100.0%	
神山	27	27	100.0%	
よろこび	33	33	100.0%	
社協	131	131	100.0%	
合計	417	417	100.0%	
H27実績	223	223	100.0%	

・利用調整件数が減少しているのは、雪が少なかったことから除排雪サービスの利用調整件数が少なかったためである。

5 住民に対する広報・啓発活動

(1) 住民に対する広報・啓発回数

センター名	広報紙の発行	パンフレット等の配布	出前講座・講師派遣	認知症サポーター養成講座
あさひ	2	18	14	3
こん中央	3	20	12	8
ときとう	2	13	10	8
ゆのかわ	2	18	21	5
たかおか	2	10	8	2
西堀	3	11	4	3
亀田	3	13	13	3
神山	3	2	6	1
よろこび	2	29	6	6
社協	3	15	45	5
合計	25	149	139	44
H27実績	13			39

(2) 総合相談にかかる広報・啓発回数

センター名	センター業務	介護保険制度	保健福祉サービス	認知症
あさひ	17	5	2	21
こん中央	23	16	7	13
ときとう	17	9	13	19
ゆのかわ	29	5	8	18
たかおか	18	3	5	3
西堀	16	2	9	5
亀田	14	5	5	9
神山	8	5	2	4
よろこび	29	9	1	6
社協	26	24	16	7
合計	197	83	68	105

・「社協」については、函館市社会福祉協議会広報紙へ記事を掲載している分も含んでいるものの、平成28年度は単独での広報紙の発行もできている。

・平成28年度介護予防・日常生活圏域ニーズ調査において、センターを知っているのが28.7%、介護保険サービスの利用方法を知っているのが30.1%(共に非認定者)であり、今後も広報・啓発活動が重要であると考えます。

・ニーズ調査については、対象が高齢者であることから、その下の働く世代がどのくらい認知できているかは不明。各センター、多世代を巻き込んだ地域づくりに向けて、多様な機関へのネットワーク構築を図っていることから、今後は働く世代についても周知していく機会が増加すると思われる。

6 高齢者見守りネットワーク事業実施状況(平成28年度)

(1)対象町の世帯の状況

センター名	町数	人口			世帯数				
		(A)	高齢者人口		(C)	高齢者のみ世帯			
			(B)	(B/A)		世帯数	割合	世帯員数	高齢者人口に占める割合
(D)	(D/C)	(E)	(E/B)						
あさひ	3	2,978	1,201	40.3%	1,689	217	7.3%	434	36.1%
こん中央	9	10,270	4,071	39.6%	6,250	670	6.5%	1,350	33.2%
ときとう	0	—	—	—	—	—	—	—	—
ゆのかわ	4	8,714	3,315	38.0%	5,178	586	6.7%	1,175	35.4%
たかおか	13	4,404	1,842	41.8%	2,500	363	8.2%	730	39.6%
西堀	3	11,899	3,784	31.8%	6,742	753	6.3%	1,509	39.9%
亀田	4	10,661	2,665	25.0%	5,524	568	5.3%	1,145	43.0%
神山	5	8,264	2,148	26.0%	3,860	490	5.9%	984	45.8%
よろこび	2	2,841	709	25.0%	1,360	130	4.6%	280	39.5%
社協	0	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	43	60,031	19,735	32.9%	33,103	3,777	6.3%	7,607	38.5%
H25～H27	161	211,365	63,758	30.2%	110,414	12,915	6.1%	25,969	40.7%

※ 人口、高齢者人口、世帯数等は、それぞれ実態把握の対象町になった時点での数。

(2)実態把握の対象となった高齢者の状況

センター名	高齢者のみ世帯数	高齢者のみ世帯員数	実態把握の対象となった高齢者											
			世帯数				うち実態把握ができた				うち実態把握ができなかった			
			数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
(A)	(B)	(C)	(C/A)	(D)	(D/B)	(E)	(E/C)	(F)	(F/D)	(G)	(G/C)	(H)	(H/D)	
あさひ	217	434	62	28.6%	124	28.6%	23	37.1%	36	29.0%	39	62.9%	88	71.0%
こん中央	670	1,350	122	18.2%	243	18.0%	20	16.4%	36	14.8%	102	83.6%	207	85.2%
ときとう	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ゆのかわ	586	1,175	369	63.0%	733	62.4%	107	29.0%	194	26.5%	262	71.0%	539	73.5%
たかおか	363	730	235	64.7%	472	64.7%	96	40.9%	180	38.1%	139	59.1%	292	61.9%
西堀	753	1,509	397	52.7%	779	51.6%	210	52.9%	310	39.8%	187	47.1%	469	60.2%
亀田	568	1,145	236	41.5%	473	41.3%	117	49.6%	195	41.2%	119	50.4%	278	58.8%
神山	490	984	340	69.4%	678	68.9%	102	30.0%	177	26.1%	238	70.0%	501	73.9%
よろこび	130	280	70	53.8%	140	50.0%	26	37.1%	46	32.9%	44	62.9%	94	67.1%
社協	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	3,777	7,607	1,831	48.5%	3,642	47.9%	701	38.3%	1,174	32.2%	1,130	61.7%	2,468	67.8%
H25～H27	12,915	25,969	5,785	44.8%	11,452	44.1%	2,336	40.4%	4,038	35.3%	3,449	59.6%	7,414	64.7%
<参考> 高齢者単身世帯		26,310			5,489	20.9%			3,211	58.5%			2,278	41.5%

※ 実態把握の対象となった人数(D)には、「転入・住基登録なし」の高齢者も含まれることから、高齢者のみ世帯員数(B)から実態把握の対象外となった高齢者を引いた数とは一致しない。

・予定通り、高齢者のみ世帯への実態把握は終了できた。高齢者のみ世帯では、世帯内での支援や見守りができることから、実態把握率は単身世帯に比べて低い。

(3)実態把握の対象外となった高齢者の状況(対象外とした理由)

センター名	高齢者のみ世帯員数 (A)	実態把握の対象外となった高齢者													
		対象外とした理由													
		サービス利用 または 施設入所		家族が サービス利用		在宅福祉 ふれあい 事業利用		民生委員・ 生保CW・包括 で情報あり		転出 転居 死亡		調整数 ^{※2}			
		数 (B ^{※1})	割合 (B/A)	数 (C)	割合 (C/B)	数 (D)	割合 (D/B)	数 (E)	割合 (E/B)	数 (F)	割合 (F/B)	数 (G)	割合 (G/B)	数 (H)	割合 (H/B)
あさひ	434	310	71.4%	55	17.7%	28	9.0%	31	7.1%	205	47.2%	2	0.5%	11	2.5%
こん中央	1,350	1,107	82.0%	172	15.5%	91	8.2%	47	3.5%	799	59.2%	6	0.4%	8	0.6%
ときとう	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ゆのかわ	1,175	442	37.6%	123	27.8%	64	14.5%	15	1.3%	240	20.4%	7	0.6%	7	0.6%
たかおか	730	258	35.3%	59	22.9%	40	15.5%	6	0.8%	153	21.0%	3	0.4%	3	0.4%
西堀	1,509	730	48.4%	144	19.7%	73	10.0%	8	0.5%	500	33.1%	8	0.5%	3	0.2%
亀田	1,145	672	58.7%	84	12.5%	51	7.6%	44	3.8%	500	43.7%	1	0.1%	8	0.7%
神山	984	306	31.1%	76	24.8%	44	14.4%	24	2.4%	165	16.8%	7	0.7%	10	1.0%
よろこび	280	140	50.0%	24	17.1%	16	11.4%	0	0.0%	98	35.0%	2	0.7%	0	0.0%
社協	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	7,607	3,965	52.1%	737	18.6%	407	10.3%	175	4.4%	2,660	67.1%	36	0.9%	50	1.3%
H25～H27	25,969	14,522	55.9%	2,414	16.6%	1,499	10.3%	919	6.3%	9,663	66.5%	185	1.3%	158	1.1%
<参考> 高齢者単身世帯	26,310	20,821	79.1%	7,887	37.9%			4,147	19.9%	10,141	48.7%	255	1.2%	1,609	7.7%

※1 B=C+D+E+F+G-H

※2 調整数とは、「サービス利用または施設入所」と「在宅福祉ふれあい事業利用」で重複する数および、転入・住民登録がないなど。

(4) 実態把握ができた高齢者の状況

① 実態把握の実施結果

センター名	見守り不要		見守り必要				計 (D)
			個別対応		見守り決定		
	数 (A)	割合 (A/D)	数 (B)	割合 (B/D)	数 (C)	割合 (C/D)	
あさひ	36	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	36
こん中央	33	91.7%	3	8.3%	0	0.0%	36
ときとう	—	—	—	—	—	—	—
ゆのかわ	190	97.9%	4	2.1%	0	0.0%	194
たかおか	180	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	180
西堀	303	97.7%	7	2.3%	0	0.0%	310
亀田	188	96.4%	7	3.6%	0	0.0%	195
神山	177	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	177
よろこび	45	97.8%	1	2.2%	0	0.0%	46
社協	—	—	—	—	—	—	—
合計	1,152	98.1%	22	1.9%	0	0.0%	1,174
H25～H27	3,894	96.4%	144	3.6%	0	0.0%	4,038
<参考> 高齢者単身世帯	2,929	91.2%	274	8.5%	8	0.2%	3,211

センター名	実態把握対象者数 (A)	見守り必要 (B)	見守り発見率 (B/A)
あさひ	124	0	0.0%
こん中央	243	3	1.2%
ときとう	—	—	—
ゆのかわ	733	4	0.5%
たかおか	472	0	0.0%
西堀	779	7	0.9%
亀田	473	7	1.5%
神山	678	0	0.0%
よろこび	140	1	0.7%
社協	—	—	—
合計	3,642	22	0.6%
H25～H27	11,452	144	1.3%
<参考> 高齢者単身世帯	5,489	282	5.1%

② 実態把握により見守り不要とした理由

センター名	稼働 (就労など)		習い事等への 参加		親族・知人との定 期的な交流		世帯内での 見守り		その他		計 (F)
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
	(A)	(A/F)	(B)	(B/F)	(C)	(C/F)	(D)	(D/F)	(E)	(E/F)	
あさひ	8	22.2%	1	2.8%	27	75.0%	0	0.0%	0	0.0%	36
こん中央	4	14.8%	0	0.0%	22	81.5%	0	0.0%	1	3.7%	27
ときとう	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ゆのかわ	9	4.7%	11	5.8%	107	56.3%	62	32.6%	1	0.5%	190
たかおか	13	7.2%	8	4.4%	90	50.0%	67	37.2%	2	1.1%	180
西堀	25	8.3%	10	3.3%	246	81.2%	22	7.3%	0	0.0%	303
亀田	23	12.2%	27	14.4%	104	55.3%	34	18.1%	0	0.0%	188
神山	14	7.9%	11	6.2%	139	78.5%	9	5.1%	4	2.3%	177
よろこび	5	10.9%	9	19.6%	27	58.7%	4	8.7%	1	2.2%	46
社協	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	101	8.8%	77	6.7%	762	66.4%	198	17.3%	9	0.8%	1,147
H25～H27	238	6.1%	181	4.6%	2,942	75.6%	524	13.5%	9	0.2%	3,894

※ その他: 町会活動や在宅福祉委員としての定期的な活動, 民間事業者による見守り, 入院中の家族への定期的な見舞い等

(5) 実態把握ができなかった高齢者の状況

センター名	玄関先で 終了		後日に訪問を 約束		事前に断りの 連絡		不在連絡票を投 函するが応答なし		面接できず※		家が不明		家族と同居	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
	(A)	(A/K)	(B)	(B/K)	(C)	(C/K)	(D)	(D/K)	(E)	(E/K)	(F)	(F/K)	(G)	(G/K)
あさひ	42	47.7%	0	0.0%	24	27.3%	8	9.1%	8	9.1%	0	0.0%	2	2.3%
こん中央	130	62.8%	0	0.0%	28	13.5%	23	11.1%	0	0.0%	4	1.9%	16	7.7%
ときとう	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ゆのかわ	275	51.0%	2	0.4%	140	26.0%	69	12.8%	13	2.4%	12	2.2%	11	2.0%
たかおか	176	60.3%	2	0.7%	49	16.8%	40	13.7%	9	3.1%	0	0.0%	14	4.8%
西堀	123	26.2%	0	0.0%	108	23.0%	79	16.8%	94	20.0%	7	1.5%	46	9.8%
亀田	113	40.6%	0	0.0%	47	16.9%	22	7.9%	45	16.2%	0	0.0%	44	15.8%
神山	220	43.9%	0	0.0%	99	19.8%	95	19.0%	24	4.8%	14	2.8%	43	8.6%
よろこび	46	48.9%	0	0.0%	24	25.5%	10	10.6%	6	6.4%	0	0.0%	8	8.5%
社協	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	1,125	45.6%	4	0.2%	519	21.0%	346	14.0%	199	8.1%	37	1.5%	184	7.5%
H25～H27	3,813	51.4%	52	0.7%	1,361	18.4%	891	12.0%	528	7.1%	73	1.0%	556	7.5%
<参考> 高齢者単身世帯	623	27.3%	22	1.0%	239	10.5%	1,002	44.0%	—	—	101	4.4%	127	5.6%

※ 世帯員の実態把握は行えたが, 外出, 稼働, 面接拒否等で本人とのみ面接ができなかった。

センター名	死亡		転居・転出		その他		計 (K)
	数	割合	数	割合	数	割合	
	(H)	(H/K)	(I)	(I/K)	(J)	(J/K)	
あさひ	0	0.0%	0	0.0%	4	4.5%	88
こん中央	0	0.0%	0	0.0%	6	2.9%	207
ときとう	—	—	—	—	—	—	—
ゆのかわ	3	0.6%	0	0.0%	14	2.6%	539
たかおか	0	0.0%	0	0.0%	2	0.7%	292
西堀	2	0.4%	0	0.0%	10	2.1%	469
亀田	1	0.4%	1	0.4%	5	1.8%	278
神山	2	0.4%	0	0.0%	4	0.8%	501
よろこび	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	94
社協	—	—	—	—	—	—	—
合計	8	0.3%	1	0.0%	45	1.8%	2,468
H25～H27	16	0.2%	9	0.1%	115	1.6%	7,414
<参考> 高齢者単身世帯	6	0.3%	26	1.1%	132	5.8%	2,278

※ その他：入院中、実態把握期間前に個別支援を実施、サービス利用または施設等への入所および在宅福祉ふれあい事業の利用等

・「不在連絡票を投函するが応答なし」については、生活に不安等がなく訪問の必要性を感じていないのか、応答が億劫なのか、不在連絡票の意味が理解できないのか、さまざまな要因が考えられる。しかし、この中に、支援が必要な人が含まれていることは確かであることから、今後事業の継続にあたっては、不在者への対応について検討が必要である。

【包括的支援事業】権利擁護業務

1 権利擁護相談対応状況

(1) 権利擁護業務対応状況

① 権利擁護事例対応件数

(件)

センター名	対象者数		実対応回数		延対応回数※1		1件あたりの対応回数 実対応回数/対象者数			(参考) 権利擁護事例 に占める虐待事例 の割合
		(内) 虐待事例※2		(内) 虐待事例		(内) 虐待事例		(内) 虐待事例以外	(内) 虐待事例	
あさひ	43	9	335	88	343	88	7.8	7.3	9.8	20.9%
こん中央	49	12	612	178	659	197	12.5	11.7	14.8	24.5%
ときとう	20	6	216	55	256	59	10.8	11.5	9.2	30.0%
ゆのかわ	16	1	196	3	203	3	12.3	12.9	3.0	6.3%
たかおか	38	7	627	78	665	83	16.5	17.7	11.1	18.4%
西堀	50	8	661	76	729	85	13.2	13.9	9.5	16.0%
亀田	51	5	1,004	48	1,094	63	19.7	20.8	9.6	9.8%
神山	22	5	271	91	288	92	12.3	10.6	18.2	22.7%
よろこび	11	4	174	72	190	80	15.8	14.6	18.0	36.4%
社協	4	1	50	15	52	15	12.5	11.7	15.0	25.0%
合計	304	58	4,146	704	4,479	765	13.6	14.0	12.1	19.1%
H27実績	245	99	2,416	1,071	2,639	1,176	9.9	9.2	10.8	40.4%

※1 複数体制での対応を行った場合に、延対応回数へ計上している。

※2 全てが高齢者虐待と判断した事例ではなく、高齢者虐待疑いとして対応した事例のこと。

- ・1件あたりの対応回数は、高齢者虐待事例以外では14.0回であり、高齢者虐待事例では12.1回と、平成27年度と比較し高齢者虐待事例以外での対応回数が多い状況である。
- ・延べ対応回数をみると、複数のセンター職員での対応もみられ、ケースの状況に応じて、養護者と被虐待者の担当を分けて対応したり、担当職員の職種や経験値を考慮した対応をしているセンターもある。
- ・権利擁護事例対応の約2割が高齢者虐待疑いとしての対応となっている。

② 事案別内訳(重複あり)

(件)

センター名	虐待	セルフ ネグレクト	成年 後見等	消費 者 被害	困難 事例	内訳(重複あり)														
						認知	知的	精神	拒否	ADL 低下	独居	家族 問題	サービス 依存	医療 問題	アル コール	薬物	経済 困窮	苦情	その他	上記 以外
あさひ	34	0	8	2	181	37	0	6	36	5	14	33	0	10	0	0	16	9	15	0
こん中央	64	0	16	3	390	79	3	29	50	6	71	51	0	12	8	0	58	4	13	6
ときとう	23	0	8	0	77	8	0	8	10	7	12	7	0	4	0	0	6	7	7	1
ゆのかわ	1	0	10	0	146	32	1	5	9	0	35	13	0	18	0	0	20	0	13	0
たかおか	34	5	17	0	359	80	4	28	15	38	43	53	0	43	7	2	24	0	21	1
西堀	19	0	36	0	622	96	2	51	70	27	99	67	0	67	5	0	53	0	72	13
亀田	15	0	17	4	412	89	1	27	63	5	53	46	0	40	0	0	28	3	23	34
神山	62	0	1	0	151	26	0	22	21	1	4	43	0	14	1	0	2	4	3	10
よろこび	30	0	2	0	122	15	0	7	27	2	2	34	0	3	11	0	8	0	6	7
社協	2	0	0	0	21	7	0	7	0	0	0	5	0	2	0	0	0	0	0	0
合計	284	5	115	9	2481	469	11	190	301	91	333	352	0	213	32	2	215	27	173	72
H27実績	376	0	77	13	1133	226	1	108	108	43	131	226	1	73	19	4	90	12	69	22

③相談・通報者内訳(重複あり)

(件)

センター名	実件数	CM	サービス事業所	近隣住民知人	民生委員	本人	家族親族	行政	警察	医療機関	不明匿名	その他	その他の内容
あさひ	43	43	19	11	10	30	42	62	15	26	0	13	虐待者、法テラス函館、弁護士、一般社団法人スターライフ、公益社団法人リーガルサポート
こん中央	49	21	16	21	11	5	24	26	11	9	0	9	弁護士、友人、地域生活定着支援センター
ときとう	20	3	3	3	2	6	8	22	8	8	0	8	町会長、管轄変更による前担当包括からの連絡
ゆのかわ	16	0	0	16	9	14	6	17	1	2	0	1	検察官
たかおか	38	18	18	21	28	9	21	4	11	24	0	4	ウィメンズネット函館、渡島総合振興局、障がい福祉サービス事業所職員
西堀	50	19	4	9	1	11	46	18	4	49	0	25	管轄変更による前担当包括からの連絡、北海道地域福祉生活支援センター
亀田	51	25	9	6	36	47	58	26	1	32	0	67	町会長、管轄変更による前担当包括からの連絡、函館市亀田支所、ウィメンズネット函館、函館市消費生活センター、大家
神山	22	17	2	2	0	19	14	3	11	4	0	0	
よろこび	11	36	15	4	5	24	11	4	0	0	0	2	函館市生活支援課
社協	4	0	0	0	0	0	3	4	0	0	0	2	福祉事業所管理者
合計	304	182	86	93	102	165	233	186	62	154	0	131	
H27実績	245	123	62	50	39	85	123	124	72	52	0	32	

④医療機関とのネットワーク構築
(重複あり)

(件)

センター名	個別ケース支援連携数	連携・ネットワーク構築機関
あさひ	26	3
こん中央	14	12
ときとう	5	46
ゆのかわ	6	27
たかおか	32	18
西堀	27	24
亀田	21	21
神山	9	16
よろこび	5	28
社協	51	4
合計	196	199

(2) 高齢者虐待対応状況(再掲)

①虐待種別の内訳(重複あり)

(件)

センター名	実件数	身体的虐待	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待	ネグレクト
あさひ	9	13	15	4	0	2
こん中央	12	29	23	0	4	8
ときとう	6	13	7	0	3	0
ゆのかわ	1	0	0	0	1	0
たかおか	7	11	11	0	8	4
西堀	8	7	5	0	4	3
亀田	5	8	5	0	1	1
神山	5	26	25	0	0	11
よろこび	4	6	11	4	9	0
社協	1	0	2	0	0	0
合計	58	113	104	8	30	29
H27実績	99	169	144	2	44	11

②虐待者の続柄, 同居・別居状況内訳(重複あり)

(件)

センター名	虐待者の続柄											同居・別居					
	夫	妻	息子	娘	嫁	婿	孫	兄弟	他	(その他内容)	不明	虐待者 と同居	虐待者 他家族 と同居	別居	他	(その他内容)	不明
あさひ	11	4	2	0	0	0	0	0	2	知人	0	16	0	3	0		0
こん中央	3	6	15	6	0	0	0	0	2	知人	1	24	2	6	0		1
ときとう	2	0	11	0	0	0	3	0	0		0	11	3	0	0		2
ゆのかわ	0	0	1	0	0	0	0	0	0		0	1	0	0	0		0
たかおか	10	0	0	4	0	0	2	0	0		0	10	0	6	0		0
西堀	1	0	9	6	0	0	0	0	0		0	12	0	4	0		0
亀田	2	0	3	0	1	0	0	0	0		0	4	1	1	0		0
神山	1	3	20	0	0	0	0	0	0		0	6	8	10	0		0
よろこび	3	0	20	0	0	0	0	0	0		0	14	3	6	0		0
社協	0	0	2	0	0	0	0	0	0		0	2	0	0	0		0
合計	33	13	83	16	1	0	5	0	4		1	100	17	36	0		3
H27実績	61	14	101	19	0	1	6	3	18		0	165	19	32	6		0

③相談・通報者内訳(重複あり)

(件)

センター名	実件数	CM	サービス 事業所	近隣 住民 知人	民生 委員	本人	家族 親族	行政	警察	医療 機関	不明 匿名	その他	その他の内容
あさひ	9	15	4	0	1	11	8	17	2	3	0	4	虐待者
こん中央	12	7	11	0	2	1	10	0	2	1	0	0	
ときとう	6	1	1	0	0	0	2	10	5	3	0	0	
ゆのかわ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
たかおか	7	5	0	2	0	0	1	4	0	3	0	3	ウィメンズネット函館, 渡島総合振興局
西堀	8	1	3	0	0	0	1	8	1	2	0	1	市内他包括支援センター
亀田	5	5	2	0	1	0	1	3	0	0	0	0	
神山	5	2	2	0	0	11	1	0	9	2	0	0	
よろこび	4	22	1	0	0	9	9	0	0	0	0	0	
社協	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
合計	58	58	24	2	4	32	33	44	19	15	0	8	
H27実績	99	70	25	11	11	50	41	49	52	25	0	14	

・ケアマネジャーや行政等と比較し、医療機関からの相談や通報が少ない。高齢者は医療の受療率が高く、定期的に通院している人が多いため、医療機関では高齢者虐待を発見できる機会が多くあると思われる。平成28年度より各包括支援センターが圏域内の医療機関へ「相談シート」を配布および協力を依頼し、早期に相談に繋がる体制の構築に努めている。

2 スキルアップ対策

(1) 研修会や事例検討会の開催, 参加

(回)

センター名	高齢者虐待	困難事例	成年後見制度 消費者被害
あさひ	3	6	6
こん中央	4	1	3
ときとう	4	4	7
ゆのかわ	2	1	7
たかおか	2	1	6
西堀	3	4	5
亀田	7	3	3
神山	3	4	6
よろこび	5	3	6
社協	1	1	4
合計	34	28	53
H27実績	10	2	20

- ・センター数が6か所から10か所に増えたことで、開催・参加回数が増加している。
- ・研修会の開催については、センター職員やケアマネジャーを対象とした研修がほとんどだが、「ときとう」では、民生委員を対象に高齢者虐待に関する研修を実施した。
- ・「社協」については、これまで研修参加回数が少ないことが課題となっていたが、平成28年度は参加回数が増加していた。

3 住民等に対する広報・啓発活動

(回)

センター名	高齢者虐待防止		成年後見制度 消費者被害防止	
	出前講座 講師派遣	広報紙 パンフレット配布	出前講座 講師派遣	広報紙 パンフレット配布
あさひ	2	3	1	11
こん中央	1	5	1	2
ときとう	2	2	4	5
ゆのかわ	5	4	4	7
たかおか	2	1	2	3
西堀	1	7	1	2
亀田	1	1	2	10
神山	0	1	2	1
よろこび	2	9	6	1
社協	15	8	25	7
合計	31	41	48	49
H27実績	27	24	49	45

【包括的支援事業】包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

1 包括的・継続的ケアマネジメント支援体制構築状況

(1) ケアプラン指導研修(合同)事業実績

開催日時	開催場所	内容	参加者数
平成28年8月20日(土) 9:30~12:30	函館大学	講演:利用者・家族との関わり方~ケアマネジャーに求められる相談助言~ 講師:NPO法人 北海道総合福祉研究センター 理事長 五十嵐 教行氏	204人
平成28年11月26日(土) 9:00~13:15	ホテル法華クラブ函館	講演:家族への理解や支援の学び 講師:社会福祉法人ゆうゆう 居宅介護支援事業所あつたかプランとうべつ 管理者 木村 晃子氏	153人

・市内全域の介護支援専門員を対象とした研修については、外部講師を招いて例年通り2回実施した。アンケート調査や日頃の包括的・継続的ケアマネジメントで把握した課題等に基づき、テーマや講師の選定を行っており、延参加者数が357人と平成27年度の271人から大幅に増加した。

(2) ケアプラン指導研修(圏域)事業実績

センター名	開催日時	開催場所	内容	参加者数	参加事業所数
あさひ	平成28年10月18日	総合在宅ケアセンターあさひ	事例検討会・懇談会 介護保険以外の社会資源の近況について、事例でひも解く解決方法の目のつけどころ	29人	11事業所
こん中央	平成29年1月12日	特別養護老人ホーム 俱有	事例検討会 日常生活自立支援事業から成年後見制度へ移行について	15人	6事業所
	平成29年2月17日	特別養護老人ホーム 松濤	懇談会 高齢者虐待について考える	12人	8事業所
	平成29年3月17日(※)	明和園	事例検討会 総合事業・介護予防ケアマネジメントについて	62人	21事業所
ときとう	平成28年5月19日	市立中央図書館	その他 あなたにとっての困難ケースとは	23人	17事業所
	平成28年7月8日	地域包括支援センターときとう	その他 こんな時どうする? 安否確認	13人	3事業所
	平成28年9月13日	コミュニティーホールこん	事例検討会 病識のない認知症の妻をもつ聴覚障害のある夫が、夫婦で地域の中で暮らしていくためには?	29人	12事業所
	平成29年2月15日	コミュニティーホールこん	事例検討会 障害を受容できない40代男性の支援について	22人	11事業所
	平成29年3月17日(※)	明和園	事例検討会 総合事業・介護予防ケアマネジメントについて	62人	21事業所
ゆのかわ	平成28年9月30日(※)	函館市民会館	懇談会・その他 介護予防・日常生活支援総合事業の実施に向けて	57人	24事業所
	平成29年3月22日(※)	函館アリーナ	事例検討会 「身寄りのない認知症高齢者に対する支援」~他職種との連携を考える 「後見人制度の利用に向けて」	45人	21事業所
たかおか	平成28年9月30日(※)	函館市民会館	懇談会・その他 介護予防・日常生活支援総合事業の実施に向けて	57人	24事業所
	平成29年3月22日(※)	函館アリーナ	事例検討会 「身寄りのない認知症高齢者に対する支援」~他職種との連携を考える 「後見人制度の利用に向けて」	45人	21事業所

センター名	開催日時	開催場所	内容	参加者数	参加事業所数
西 堀	平成28年7月29日(※)	亀田病院	懇談会 障害サービスと介護サービスを併用利用していたが、飲酒を重ね 本人が希望する在宅生活が継続できなくなったケース	47人	18事業所
	平成29年3月31日	西堀病院	事例検討会 医療ニーズが高く主介護者が不在、ケアマネへの不信感も強 かったケース	47人	26事業所
亀 田	平成28年7月6日	亀田病院	懇談会 介護保険以外の高齢者支援サービスについて 等	47人	17事業所
	平成28年7月29日(※)	亀田病院	懇談会 障害サービスと介護サービスを併用利用していたが、飲酒を重ね 本人が希望する在宅生活が継続できなくなったケース	47人	18事業所
神 山	平成28年7月29日(※)	亀田病院	懇談会 障害サービスと介護サービスを併用利用していたが、飲酒を重ね 本人が希望する在宅生活が継続できなくなったケース	47人	18事業所
	平成28年9月9日	地域包括支援センター 神山	事例検討会・懇談会 認知症のご主人を精神疾患の妻が介護しているケースの支援に ついて	10人	4事業所
	平成28年12月15日	西堀病院	懇談会 看取りにおける介護支援専門員の役割	48人	26事業所
よろこび	平成28年7月29日(※)	亀田病院	懇談会 障害サービスと介護サービスを併用利用していたが、飲酒を重ね 本人が希望する在宅生活が継続できなくなったケース	47人	18事業所
	平成29年2月22日	デイサービスハートTO ハート北浜	懇談会 ケースを通して医療・介護・家族との連携や支援について考えよ う	47人	26事業所
社 協	平成29年2月28日	社協戸井支所	事例検討・その他 独居で病院受診やサービス利用を拒否する方への支援について 日常生活自立支援事業について	7人	4事業所

※他センターとの合同開催

・日常生活圏域が6圏域から10圏域となり、各圏域の事業所数が少なくなったことから、介護支援専門員同士のネットワーク構築を図ることを目的に複数のセンターによる合同実施が多かった。一方、圏域の変更もあったことから、単独で実施することにより、包括職員と介護支援専門員のつながりの強化を図ったセンターもあった。

・研修会では、平成29年度から実施される総合事業をテーマにしたセンターが多くみられた。また、事例検討会では、高齢者への支援とだけでなく、障がい者への支援の視点も含むケースが多く取り上げられていた。

(3) 計画数値の達成率

(回)

	あさひ	こん中央	ときとう	ゆのかわ	たかおか	西 堀	亀 田	神 山	よろこび	社 協	合 計
実施回数	3	5	7	4	4	4	4	5	4	3	43
計画数値	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	30
計画数値 達成率	100.0%	166.7%	233.3%	133.3%	133.3%	133.3%	133.3%	166.7%	133.3%	100.0%	143.3%

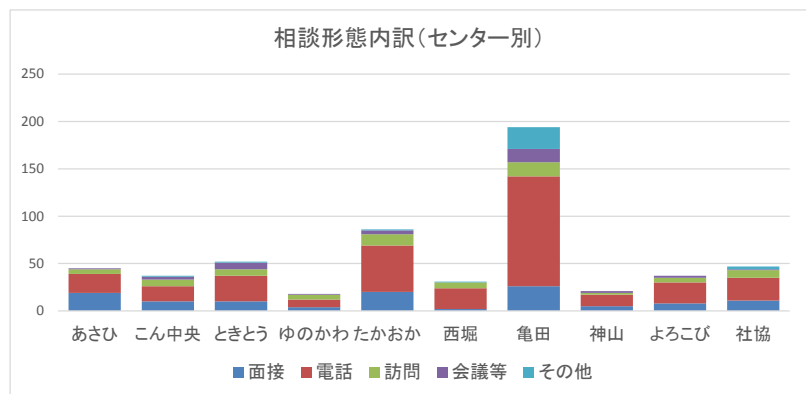
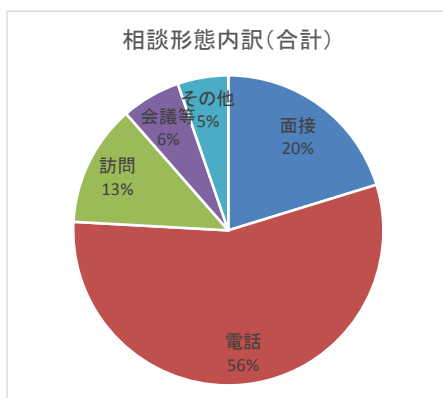
・ケアプラン指導研修の開催だけでなく、居宅介護支援事業所を訪問しての意見交換や懇談会の実施、特定の事業所との事例検討会、制度や研修等についての情報提供など、居宅介護支援事業所や地域の介護支援専門員との連携強化のため、工夫した取り組みを行っているセンターが増加した。

2 介護支援専門員への個別支援

(1) 対応状況

(人・回)

センター名	対象者数 (延)	対応回数(実)						終結率(実)	
		面接	電話	訪問	会議等	その他	合計	終結した 対象者数	終結率
あさひ	8	19	20	5	1	0	45	6	75.0%
こん中央	15	10	16	7	3	1	37	10	66.7%
ときとう	8	10	27	7	7	1	52	7	87.5%
ゆのかわ	6	4	8	5	1	0	18	5	83.3%
たかおか	10	20	49	12	4	1	86	6	60.0%
西堀	4	2	22	6	0	1	31	3	75.0%
亀田	27	26	116	15	14	23	194	25	92.6%
神山	5	5	12	2	2	0	21	4	80.0%
よろこび	8	8	22	5	2	0	37	8	100.0%
社協	2	11	24	8	1	3	47	2	100.0%
合計	93	115	316	72	35	30	568	76	81.7%
H27実績	72	81	239	60	35	19	434	43	59.7%

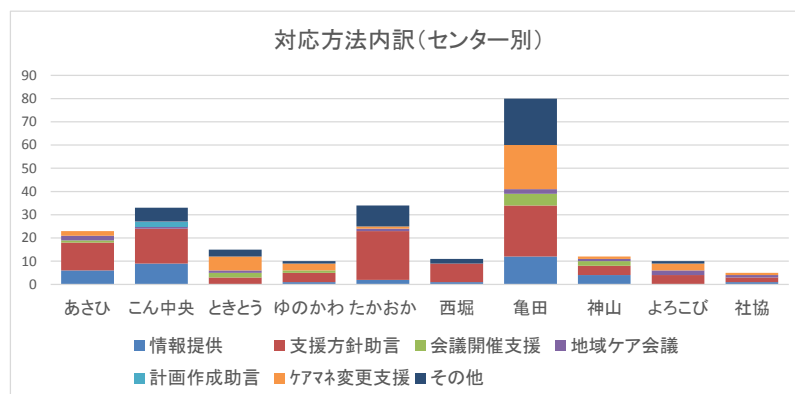
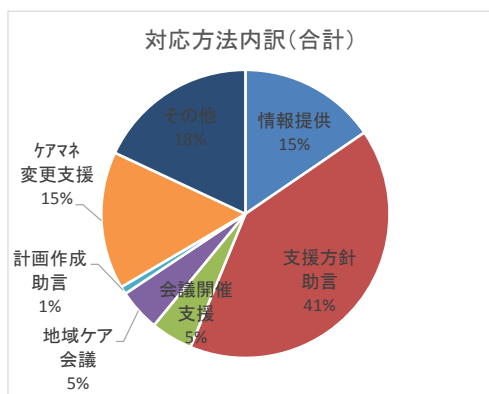


- ・対象者数、実対応回数ともに平成27年度よりも増加している。とくに、新設センターである「亀田」の支援件数が多く、介護支援専門員の個別支援として計上するケース像が各センターによって異なっているのではないかと考えられる。
- ・相談形態としては、平成27年度と同様電話が最も多く、訪問、会議等が少なかった。
- ・終結率については、60%から100%とセンターによる差が大きい。介護支援専門員への個別支援では、介護支援専門員の実践力向上のためにも終結を意識した支援が重要であることから、とくに終結率が低い「たかおか」「こん中央」については、要因の検討が必要と考えられる。

(2) 対応方法(重複あり・実対応回数)

(回)

センター名	対象者数	情報提供					支援方針助言	会議開催支援	地域ケア会議	計画作成助言	ケアマネ変更支援	その他	合計
		介護保険	その他制度	社会資源	その他								
あさひ	8	6	3	0	3	0	12	1	2	0	2	0	23
こん中央	15	9	6	1	3	3	15	0	1	2	0	6	33
ときとう	8	0	0	0	0	0	3	2	1	0	6	3	15
ゆのかわ	6	1	0	0	1	0	4	1	0	0	3	1	10
たかおか	10	2	1	1	0	0	21	0	1	0	1	9	34
西堀	4	1	0	1	0	0	8	0	0	0	0	2	11
亀田	27	12	6	4	3	6	22	5	2	0	19	20	80
神山	5	4	3	1	1	1	4	2	1	0	1	0	12
よろこび	8	0	0	0	0	0	4	0	2	0	3	1	10
社協	2	1	0	0	1	0	2	0	1	0	1	0	5
合計	93	36	19	8	12	10	95	11	11	2	36	42	233
H27実績	72	38					78	11	9	5	20	4	165

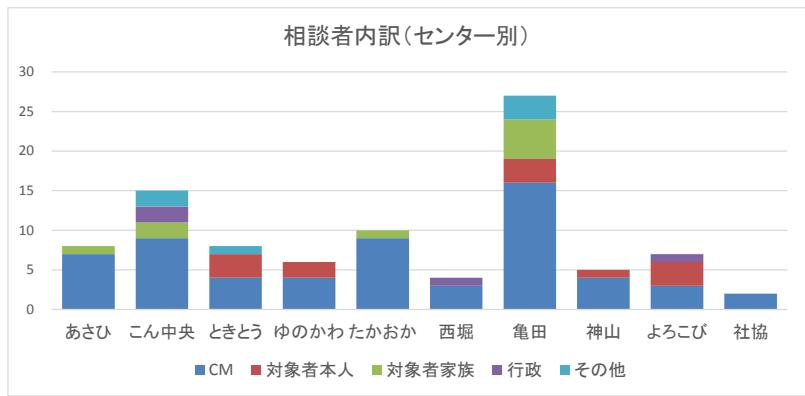
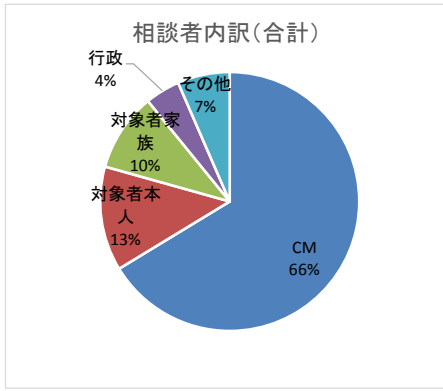


・対応方法については、支援方針の助言が41%と最も多く、次いで情報提供とケアマネ支援が15%だった。計画作成の助言は1%と最も少なかった。平成27年度と比較すると、支援方針の助言や情報提供、計画作成の助言など、ケアマネジメントに関わる部分が減少し、ケアマネ変更支援やその他の支援が増加している。

(3) 相談者(実数)

(人)

センター名	対象者数	CM	対象者本人	対象者家族	行政	部署	その他	内訳
あさひ	8	7	0	1	0		0	
こん中央	15	9	0	2	2	高齢福祉課	2	他の包括支援センター、配食事業所
ときとう	8	4	3	0	0		1	訪問介護事業所
ゆのかわ	6	4	2	0	0		0	
たかおか	10	9	0	1	0		0	
西堀	4	3	0	0	1	亀田福祉課	0	
亀田	27	16	3	5	0		3	函館中央警察署、民生児童委員、通所介護事業所
神山	5	4	1	0	0		0	
よろこび	8	3	3	0	1	高齢福祉課	0	
社協	2	2	0	0	0		0	
H27実績	93	61	12	9	4		6	

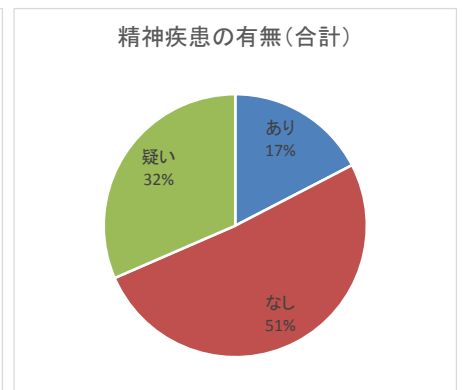
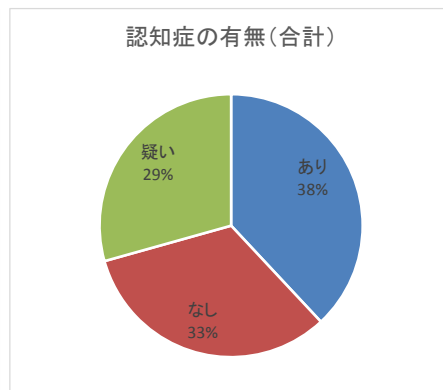
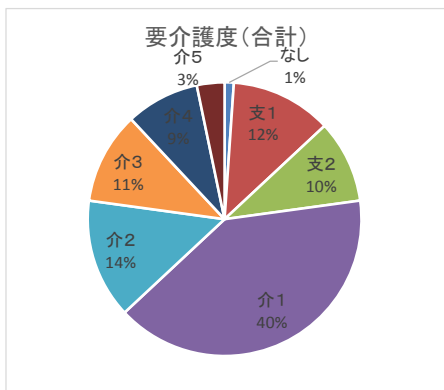


・相談者については、平成28年度から集計をはじめた。
 ・介護支援専門員からの相談が66%と最も多いが、ケアマネ変更の支援数が多い「ときとう」「亀田」「よろこび」では、対象者本人・家族からの相談も多い。

(4) 対象者の概要

①対象者本人の状況(実数)

センター名	対象者数	要介護度								認知症			精神疾患		
		なし	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	あり	疑い	なし	あり	疑い	なし
あさひ	8	0	0	2	3	1	1	1	0	6	0	2	4	0	4
こん中央	15	0	3	0	8	2	0	1	1	5	7	3	2	7	6
ときとう	8	0	1	2	3	2	0	0	0	0	3	5	3	3	2
ゆのかわ	6	0	3	1	2	0	0	0	0	0	3	3	0	3	3
たかおか	10	0	0	1	4	1	1	3	0	5	2	3	1	3	6
西堀	4	0	0	0	3	0	0	0	1	4	0	0	0	0	4
亀田	27	1	1	2	9	7	4	2	1	9	9	9	6	8	13
神山	5	0	2	0	3	0	0	0	0	3	0	2	0	1	4
よろこび	8	0	1	1	2	0	2	1	0	3	1	3	0	2	5
社協	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0
合計	93	1	11	9	37	13	10	8	3	35	27	30	16	29	47

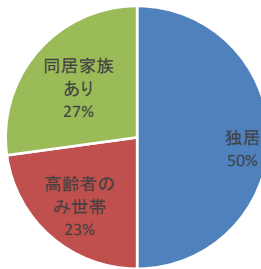


・対象者の概要については、平成28年度から集計をはじめた。
 ・対象者本人の要介護度としては、要介護1が40%、要介護2が14%と多く、さらに、67%が認知症(疑い含む)、49%が精神疾患(疑い含む)で、ADLの低下だけでなく、認知機能の低下や精神症状を抱えながら在宅での生活を継続しているケースへの支援において、介護支援専門員の支援の困難性が高まっていると考えられる。

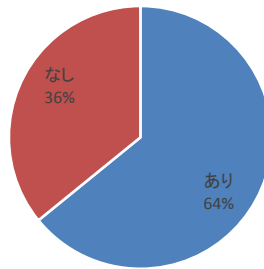
②支援状況(延数)

センター名	対象者数	家族形態						サービス利用状況				CMとの関係		
		独居		高齢者のみ		同居家族あり		あり		なし	拒否	良好	不良	不明
		支援者あり	支援者なし	支援者あり	支援者なし	支援者あり	支援者なし	十分	不十分					
あさひ	8	3	0	4	0	1	0	4	3	0	1	4	4	0
こん中央	15	3	4	2	2	4	0	9	6	0	0	11	1	3
ときとう	8	4	2	0	1	0	1	5	2	1	0	1	7	0
ゆのかわ	6	1	3	1	0	1	0	5	1	0	0	3	0	3
たかおか	10	0	2	4	3	1	0	5	3	1	1	7	2	1
西堀	4	2	0	1	0	0	1	1	1	1	1	1	3	0
亀田	27	8	7	2	0	9	1	12	13	2	0	11	9	7
神山	5	1	0	0	1	3	0	3	0	0	2	2	2	1
よろこび	8	3	3	0	0	1	0	6	1	0	0	4	3	0
社協	2	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	1	1	0
合計	93	25	21	14	7	20	5	51	30	5	6	45	32	15

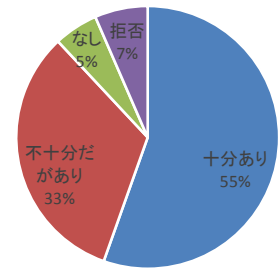
世帯構成(合計)



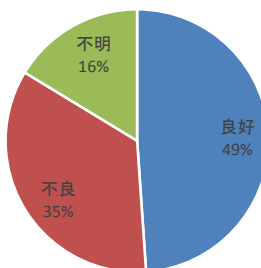
支援者の有無(合計)



サービス利用の有無(合計)



CMとの関係(合計)



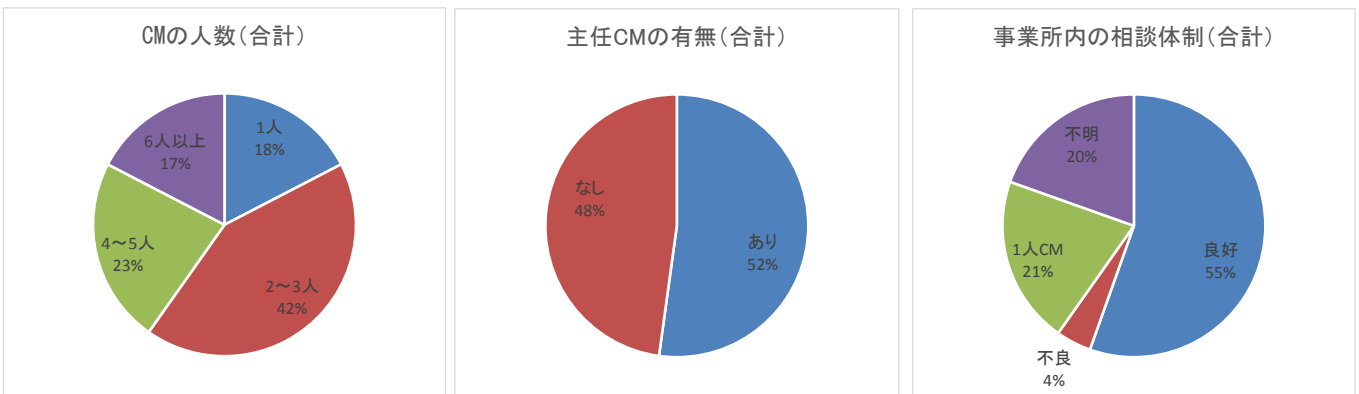
・対象者本人の世帯構成としては、独居が50%、高齢者のみ世帯が23%であり、支援者が全くいない対象者も36%にのぼるなど、家族による介護が十分受けられないケースでは、介護支援専門員の支援の困難性が高まると考えられる。

・サービス利用状況については、55%が十分利用しており、サービス調整以外の部分で困難性を抱えるケースも多いと考えられる。

(5) 事業所および介護支援専門員の概要

①事業所の状況(延数)

センター名	対象者数	CMの人数				主任CMの有無		事業所の相談体制			
		1人	2~3人	4~5人	6人以上	あり	なし	良好	不良	1人CM	不明
あさひ	8	0	2	4	2	5	3	7	1	0	0
こん中央	15	3	9	1	2	7	8	5	0	6	4
ときとう	8	1	5	2	0	2	6	4	2	1	1
ゆのかわ	6	1	3	2	0	2	4	4	0	1	1
たかおか	10	1	3	3	3	6	4	6	0	3	1
西堀	4	1	1	1	1	2	2	2	0	1	1
亀田	27	4	10	5	8	18	9	18	1	3	5
神山	5	1	2	2	0	3	2	3	0	1	1
よろこび	8	2	4	1	0	2	5	2	0	3	2
社協	2	2	0	0	0	1	1	0	0	0	2
合計	93	16	39	21	16	48	44	51	4	19	18

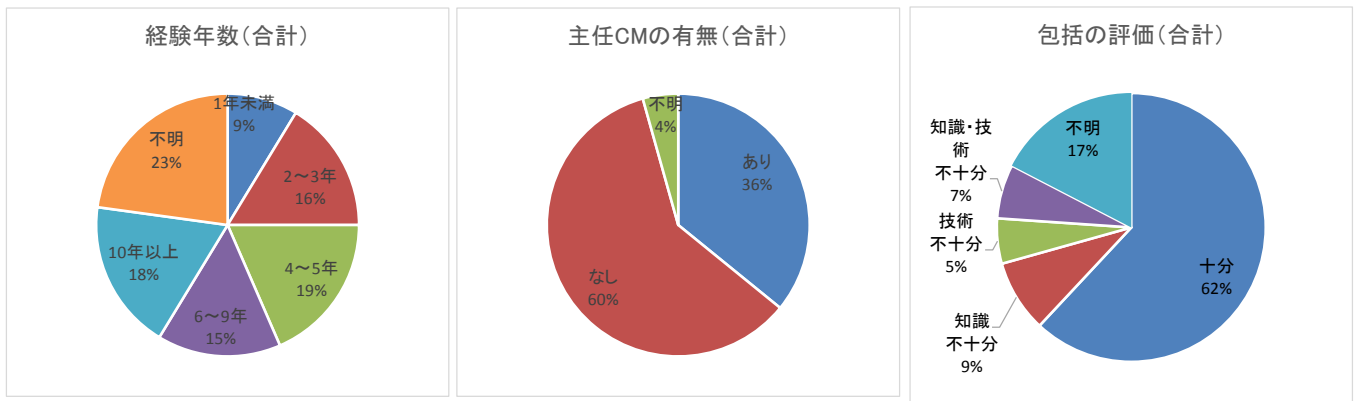


・事業所および介護支援専門員の概要については、平成28年度から集計をはじめた。

・事業所の概要としては、介護支援専門員が3人以下の小規模の事業所が60%を占めた。主任介護支援専門員の有無による差はなかった。また、25%は、介護支援専門員が1人しかいないまたは事業所内での相談体制が不良という状況だった。

②介護支援専門員の状況(延数)

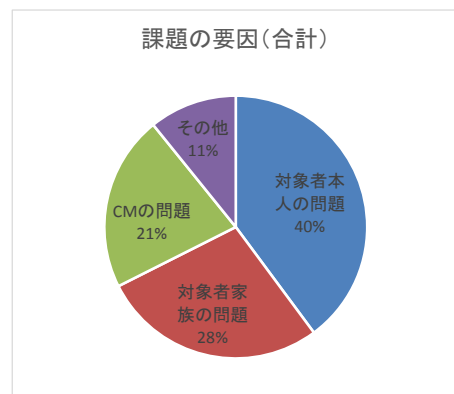
センター名	対象者数	CMの経験年数						主任CMの有無			包括の評価(重複あり)			
		1年未満	2~3年	4~5年	6~9年	10年以上	不明	あり	なし	不明	十分	知識不十分	技術不十分	不明
あさひ	8	0	1	1	5	0	1	3	5	0	6	1	1	1
こん中央	15	4	2	1	1	6	1	7	8	0	8	4	5	2
ときとう	8	0	3	2	0	2	1	2	5	1	3	0	2	3
ゆのかわ	6	1	3	1	0	1	0	1	5	0	2	1	2	1
たかおか	10	2	1	0	3	1	3	2	6	2	7	3	0	0
西堀	4	0	1	3	0	0	0	0	4	0	3	0	0	1
亀田	27	0	3	6	3	5	10	12	14	1	19	5	1	3
神山	5	0	0	1	0	0	4	3	2	0	4	0	0	1
よろこび	8	1	0	2	1	2	1	2	5	0	4	0	0	3
社協	2	0	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	1
合計	93	8	15	17	14	17	21	33	55	4	57	14	11	16



- ・支援をした介護支援専門員の経験年数に特徴はなかったが、主任介護支援専門員の資格がない介護支援専門員が60%だった。
- ・介護支援専門員の知識と技術については、62%の介護支援専門員が十分有していたが、対象者本人や家族の問題等により支援の困難性が高まるケースが多かった。
- ・一方、知識や技術が不十分な介護支援専門員一定程度あり、個別支援だけでなく、ケアプラン指導研修等とおした全体のスキルアップを図る必要があると考えられる。

(6) 課題の背景(重複あり)

センター名	対象者数	対象者本人の問題	対象者家族の問題	CMの問題	その他	その他の内訳
あさひ	8	2	5	3	0	
こん中央	15	10	9	7	3	家賃の滞納, 配食事業者の契約の対応, 医療サービス提供者の問題
ときとう	8	7	0	3	3	制度の隙間で支援体制が定まらない, 対象者とCMの年齢差, 事業所の人員不足
ゆのかわ	6	5	2	3	1	事業所の問題によりCM変更に伴う引継ぎ業務が困難
たかおか	10	7	6	5	1	問題解決のための制度・サービスがない
西堀	4	3	3	0	0	
亀田	27	14	8	6	7	CM変更後の支援, 障がいサービスと介護保険サービスの提供内容の乖離, 医療関係者の問題
神山	5	4	4	1	1	対象者とCMの性格の相性が悪い
よろこび	8	5	3	4	0	
社協	2	2	1	0	0	
合計	93	59	41	32	16	



- ・課題の背景については、平成28年度から集計をはじめた。
- ・対象者本人および家族の問題が68%を占めており、本人・家族に問題を抱えるケースでは、支援の困難性が高まると考えられる。介護支援専門員の知識・技術が不十分なケースも21%あった。

【包括的支援事業】地域ケア会議推進事業

1 地域ケア会議開催状況

(1) 実施回数と計画数値の達成率(実数)

(回)

センター名	個別ケースの検討			地域課題の検討			合計		
	実施回数	計画数値	計画数値の達成率	実施回数	計画数値	計画数値の達成率	実施回数	計画数値	計画数値の達成率
あさひ	5	5	100.0%	3	3	100.0%	8	8	100.0%
こん中央	6	6	100.0%	3	3	100.0%	9	9	100.0%
ときとう	9	6	150.0%	3	3	100.0%	12	9	133.3%
ゆのかわ	8	7	114.3%	5	4	125.0%	13	11	118.2%
たかおか	6	6	100.0%	3	3	100.0%	9	9	100.0%
西 堀	5	5	100.0%	2	2	100.0%	7	7	100.0%
亀 田	6	7	85.7%	3	3	100.0%	9	10	90.0%
神 山	7	7	100.0%	3	3	100.0%	10	10	100.0%
よろこび	6	6	100.0%	3	3	100.0%	9	9	100.0%
社 協	3	3	100.0%	3	2	150.0%	6	5	120.0%
合 計	61	58	105.2%	31	29	106.9%	92	87	105.7%
平成27年度実績	51	54	94.4%	28	25	112.0%	79	79	100.0%

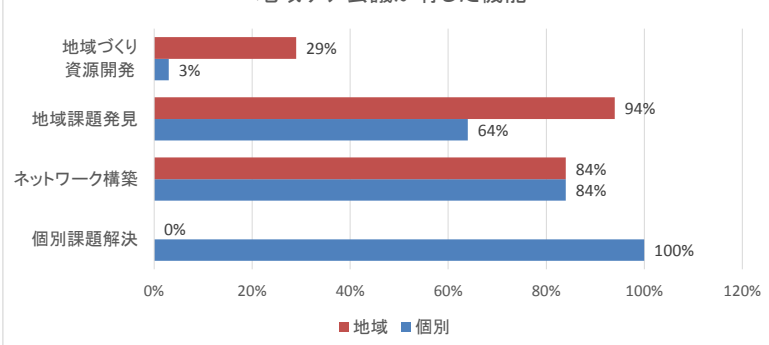
- ・個別ケースの検討を行う地域ケア会議については、「ときとう」「ゆのかわ」が計画数値よりも多く開催しており、平成27年度に比べて10回多い61回の開催となった。一方で「亀田」では、重大な問題を抱えるケースであることを主眼に開催したため、対象となるケースが選定できず計画数値を達成することができなかった。
- ・地域課題の検討を行う地域ケア会議については、全センターが計画数値以上の開催を行った。
- ・日常生活圏域が6圏域から10圏域となったことで、計画数値および実施回数が増加した。

(2) 地域ケア会議が有した機能(実数・重複あり)

(回)

センター名	個別ケースの検討				地域課題の検討				合計			
	個別課題解決	ネットワーク構築	地域課題発見	地域づくり資源開発	個別課題解決	ネットワーク構築	地域課題発見	地域づくり資源開発	個別課題解決	ネットワーク構築	地域課題発見	地域づくり資源開発
あさひ	5	5	0	0	0	1	2	1	5	6	2	1
こん中央	6	5	4	0	0	3	3	0	6	8	7	0
ときとう	9	8	5	1	0	3	3	0	9	11	8	1
ゆのかわ	8	7	8	0	0	5	5	5	8	12	13	5
たかおか	6	6	6	0	0	3	3	2	6	9	9	2
西 堀	5	5	4	0	0	2	2	0	5	7	6	0
亀 田	6	6	3	0	0	3	2	1	6	9	5	1
神 山	7	3	2	0	0	2	3	0	7	5	5	0
よろこび	6	6	4	1	0	1	3	0	6	7	7	1
社 協	3	0	3	0	0	3	3	0	3	3	6	0
合 計	61	51	39	2	0	26	29	9	61	77	68	11
平成27年度実績	51	38	32	1	0	24	27	19	51	62	59	20

地域ケア会議が有した機能



(3) 地域ケア会議の参集者

① 個別ケースの検討を行う地域ケア会議(延数・重複あり)

(人)

センター名	開催回数	本人	家族	近隣住人	民生委員	町会役員	在宅福祉	CM	医療機関	行政	その他	合計
あさひ	5	1	1	4	5	6	2	5	0	0	8	32
こん中央	6	0	4	2	4	5	0	2	2	6	4	29
ときとう	9	0	0	3	9	7	1	6	2	7	11	46
ゆのかわ	8	0	3	1	6	8	1	4	3	8	14	48
たかおか	6	0	3	0	7	5	1	3	4	3	7	33
西 堀	5	1	1	0	5	3	1	5	3	8	4	31
亀 田	6	0	2	2	5	0	0	6	3	12	14	44
神 山	7	0	2	0	4	0	0	10	4	2	19	41
よろこび	6	0	4	0	6	1	1	7	0	3	15	37
社 協	0	0	0	0	0	0	0	3	5	7	6	21
合 計	61	2	20	12	51	35	7	51	26	56	102	362
平成27年度実績	51	4	13	14	36	15	6	37	40	59	98	322

* 医療機関の内訳

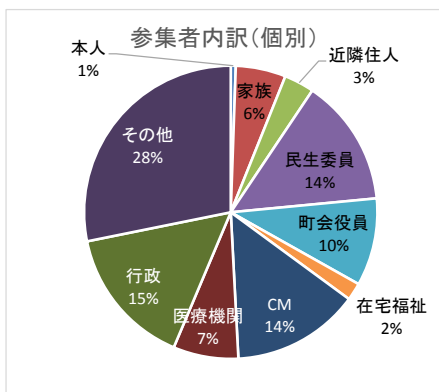
医師会病院(相談員), 亀田北病院(看護師, 精神保健福祉士), 協会病院(相談員), 協立消化器内科病院(相談員), 国立病院(相談員), 市立函館南茅部病院(看護師), 杉山クリニック(医師), 富田病院(精神保健福祉士), 渡辺病院(看護師, 精神保健福祉士, 相談員)

* 行政の内訳

高齢福祉課, 障がい保健福祉課, 生活支援課, 住宅課, 亀田福祉課, 湯川福祉課, 生活衛生課, 清掃事業課, 東部保健事務所, 戸井支所, 住宅公社

* その他の内訳

介護保険事業所, 障がい者相談事業所, 中央警察署, 西警察署, 交番, 郵便局, 青少年会館館長, フェラス, 薬局, 新聞販売店, 函館中途失聴者の会, NPO法人, 家政婦事務所, 大家, 友人



・参集者は、行政職員が最も多いが、民生委員、町会役員の占める割合が平成27度よりも増加している。また、医療関係者では、相談室を設置している大規模の病院からの参加がほとんどで、職種としても相談職が多くなっている。

・「社協」で実施した会議には、民生委員、町会役員の参加が全くないため、今後の開催に向けては、多様な参加者を招集を検討する必要があると考えられる。

②地域課題の検討を行う地域ケア会議(延数・重複あり)

(人)

センター名	開催回数	本人	家族	地域住民	民生委員	町会役員	在宅福祉	CM	医療機関	行政	その他	合計
あさひ	3	0	1	7	31	28	0	1	1	0	6	75
こん中央	3	0	0	4	15	23	11	0	0	2	1	56
ときとう	3	0	0	0	5	9	18	0	0	4	2	38
ゆのかわ	5	0	0	93	3	67	9	21	0	6	41	240
たかおか	3	0	0	0	16	31	0	16	0	3	14	80
西 堀	2	0	0	0	16	12	2	1	0	0	2	33
亀 田	3	0	0	0	34	4	0	3	0	0	6	47
神 山	3	0	0	0	3	19	2	0	0	0	8	32
よろこび	3	0	0	0	26	21	0	0	0	2	1	50
社 協	3	0	0	2	11	16	0	0	0	7	37	73
合 計	31	0	1	106	160	230	42	42	1	24	118	724
平成27年度実績	28	0	0	1	237	206	64	80	8	39	138	773

*医療機関の内訳

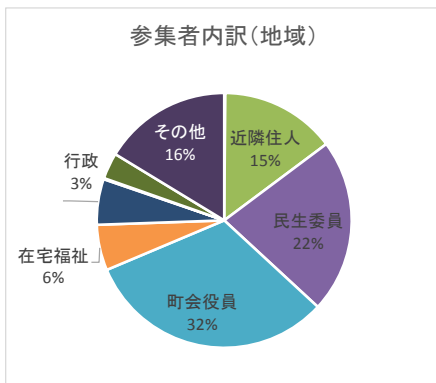
高橋病院(質向上室職員)

*行政の内訳

高齢福祉課, 総務課(防災担当), 住宅課, 東部保健事務所, 戸井支所, 住宅公社

*その他の内訳

介護保険事業所, 函館中央警察署, 交番, 社会福祉協議会, 生活支援コーディネーター, 地域福祉コーディネーター, 地域交流まちづくりセンター, 老人クラブ, 教育大函館校, 函館未来大学学生, 新聞社, 薬局, ボランティア組織, 地域住民組織, スーパー, コミュニティカフェ, 商店



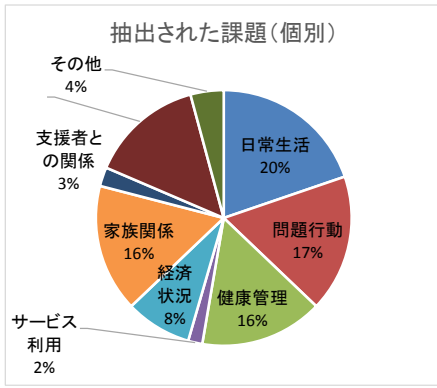
・地域課題の検討を行う地域ケア会議では、民生委員、町会役員等の地域福祉の担い手が60%を占め、主な参加者となっている。平成28年度は、「あさひ」「こん中央」「ゆのかわ」で地域福祉の担い手だけではなく、地域住人を参集し開催していることが特徴である。また、その他の内訳では、大学生の参加も見られ、以前から課題とされてきた多世代を巻き込んだ取り組みが行われたセンターもあった。

(4)地域ケア会議で抽出された課題

①個別ケースについての課題(延数・重複あり)

(件)

センター名	日常生活	問題行動	健康管理	サービス利用	経済状況	家族関係	支援者との関係	関係機関連携	地域との関係	その他	合計
あさひ	2	2	1	0	1	1	1	/	2	1	11
こん中央	4	4	2	0	0	2	1	/	2	0	15
ときとう	3	5	3	2	1	2	0	/	6	0	22
ゆのかわ	6	3	3	0	4	5	1	/	5	0	27
たかおか	3	3	3	0	3	3	0	/	2	1	18
西 堀	4	0	5	0	2	3	0	/	2	1	17
亀 田	4	2	1	0	1	3	0	/	2	0	13
神 山	4	4	3	1	2	6	1	/	0	2	23
よろこび	1	5	3	0	0	1	0	/	2	1	13
社 協	2	1	2	0	0	1	0	/	1	1	8
合 計	33	29	26	3	14	27	4	/	24	7	167
平成27年度実績	20	9	28	17	11	19	5	7	17	5	138

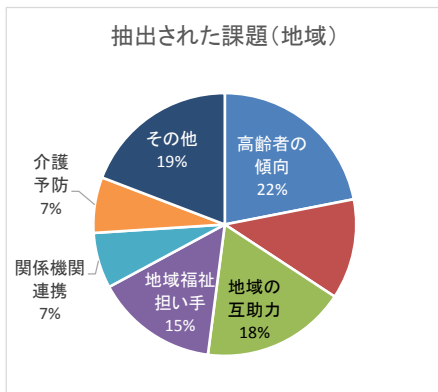


・個別ケースの検討を行う地域ケア会議では、平成27年度と同様、日常生活に関する課題、健康管理に関する問題が多く取り上げられた一方、認知症等による問題行動や家族関係の課題、地域との関係が増加している。

②地域課題(延数・重複あり)

(件)

センター名	高齢者の傾向	地域住民理解	地域の互助力	地域福祉担い手	関係機関連携	介護予防	その他	合計
あさひ	0	1	0	2	0	0	1	4
こん中央	2	1	1	1	0	0	1	6
ときとう	2	0	2	3	2	0	1	10
ゆのかわ	4	3	2	1	0	0	5	15
たかおか	0	1	1	2	1	0	1	6
西 堀	1	0	0	1	1	0	1	4
亀 田	1	1	0	0	0	3	0	5
神 山	2	0	4	0	0	1	1	8
よろこび	2	0	2	0	1	0	1	6
社 協	2	2	1	2	0	1	2	10
合 計	16	9	13	12	5	5	14	74
平成27年度実績	10	20	20	11	1	5	8	75



・抽出された地域課題(個別ケースの検討を行う地域ケア会議も含む)は、認知症高齢者や身寄りのない高齢者、閉じこもり高齢者の増加など、地域の高齢者が抱える課題について多く取り上げられた。

・地域課題の集計については、センターからの実績報告に基づき市で分析を行っているが、各センターの記載方法が異なること、分類方法などに課題があることから、記録様式の変更により、適切な分析が行えるようにする必要がある。

(5) 地域ケア会議で検討された解決策

① 個別ケースの検討を行う地域ケア会議(延数・重複あり)

(件)

センター名	見守り体制 (地域)	見守り体制 (関係機関)	サービス等 調整	サービス等 拡充	周知	家族への 支援	健康管理 支援	ネットワーク (関係機関)	ネットワーク (地域)	介護予防	地域づくり	その他	合計
あさひ	3	2	1		0	1	0	4	4	0	0	2	17
こん中央	5	3	2		1	1	0	2	2	0	0	0	16
ときとう	1	1	2		2	2	3	4	2	0	0	3	20
ゆのかわ	5	3	6		1	2	3	2	1	0	0	2	25
たかおか	3	5	3		2	2	0	3	3	0	0	0	21
西 堀	3	3	3		0	0	1	2	0	0	0	0	12
亀 田	2	3	4		1	1	1	1	1	0	0	2	16
神 山	1	0	3		1	2	2	4	0	0	0	2	15
よろこび	3	3	1		0	1	1	1	1	0	0	1	12
社 協	2	0	0		2	1	3	1	0	0	0	2	11
合 計	28	23	25		10	13	14	24	14	0	0	14	165
平成27年度実績	24	13	25	1	9	10	14	27	11	1	1	6	142

・検討された解決策としては、サービス等調整や地域住民も含めた見守り体制の構築、関係機関同士の役割分担や情報共有の方法についての検討等、関係者から高齢者への支援についての検討だけではなく、地域住民による見守りや支援体制の構築についての検討を行っている会議が多くあった。

② 地域課題の検討を行う地域ケア会議(延数・重複あり)

(件)

センター名	見守り体制 (地域)	見守り体制 (関係機関)	サービス等 調整	サービス等 拡充	周知	家族への 支援	健康管理 支援	ネットワーク (関係機関)	ネットワーク (地域)	介護予防	地域づくり	その他	合計
あさひ	0	0	0		1	0	0	0	0	0	2	1	4
こん中央	2	0	0		1	0	0	0	1	0	2	0	6
ときとう	1	1	0		1	0	0	2	2	0	1	1	9
ゆのかわ	1	0	0		5	0	0	0	0	0	1	0	7
たかおか	0	0	0		0	0	0	0	0	0	2	0	2
西 堀	0	0	0		0	0	0	1	1	1	0	1	4
亀 田	0	0	0		1	0	0	0	2	1	3	0	7
神 山	0	0	0		0	0	0	0	0	1	1	0	2
よろこび	0	0	0		0	0	0	2	2	0	0	0	4
社 協	1	0	0		1	0	0	0	0	1	3	0	6
合 計	5	1	0		10	0	0	5	8	4	15	3	51
平成27年度実績	3	0	0	2	12	0	0	1	7	5	8	4	42

・解決策としては、地域づくりが最も多く、平成27年度に比べても大幅に増加した。平成22年度から各圏域で取り組みを進めてきた結果地域課題が明確になり、「地域課題を抽出する会議」から「把握した地域課題の解決策の検討を行う会議」へと移行してきていることが影響していると思われる。また、「ゆのかわ」では、徘徊模擬訓練を経年的に継続することで、地域住民の意識を変える取り組みを行うなど、地域ケア会議を地域づくりのツールとして活用しているセンターもある。

・平成28年度は、市が主催する地域ケア全体会議も開催するなど、地域づくり、資源開発、政策形成へ向けた取り組みを推進したが、それぞれの会議の開催目的や有する機能が明確ではなく、抽出した地域課題を新たな仕組みづくりや政策に結び付けられないという課題があった。そのため、平成29年度には、地域包括ケアシステムの構築のためのツールとして地域ケア会議を有効に活用するため、会議体系のデザインをセンターと協働して行う必要がある。

2 住民等に対する広報・啓発活動

①地域ケア会議にかかる広報・啓発

(回)

センター名	出前講座 講師派遣	広報紙・パンフレット 配布
あさひ	0	5
こん中央	0	5
ときとう	0	0
ゆのかわ	0	10
たかおか	0	5
西堀	0	2
亀田	0	2
神山	0	2
よろこび	0	9
社協	1	4
合計	1	44
平成27年度実績		4

②地域での見守りにかかる広報・啓発

(回)

センター名	出前講座 講師派遣	広報紙・パンフレット 配布
あさひ	0	0
こん中央	0	2
ときとう	0	3
ゆのかわ	0	1
たかおか	1	2
西堀	0	1
亀田	0	2
神山	0	0
よろこび	0	2
社協	5	3
合計	6	16
平成27年度実績		

・地域ケア会議での検討内容について、広報紙に掲載し啓発しているセンターが多く、平成27年度にくらべて広報・啓発回数が大幅に増加した。

・平成28年度には、地域ケア全体会議終了後、「認知症の人の理解者・協力者を増やす」「認知症の火災リスクを減らす」ための取り組みとして、地域での見守りに関するリーフレットを2種類作成し、各センターが地域住民への配布をおこなった。リーフレットが完成したのが年度末だったため、配布回数は少ないが、平成29年度も継続して実施する。

【任意事業】

1 家族介護支援事業

(1) 家族介護教室開催状況

センター名	開催日時	会 場	内 容	参加者数	実施回数	計画数値	達成率
あ さ ひ	平成28年11月30日	地域交流まちづくりセンター	施設・地域包括支援センター・家族介護支援担当・物忘れカフェおよび函館認知症の人を支える家族の会の紹介	16	3	2	150.0%
	平成28年12月1日	女性センター		24			
	平成28年12月7日	ふらっと大門		41			
こ ん 中 央	平成28年10月6日	明和園	高齢者の食事内容、栄養、食事の形態について	25	2	2	100.0%
	平成28年10月20日	特別養護老人ホーム松濤	高齢者の住まいについて	26			
と き と う	平成28年8月18日	柳町団地集会場	移乗の介助方法	17	2	2	100.0%
	平成28年11月8日	時任町会館	介護方法(トランスファーやボディメカニクス等)について、福祉用具の体験	27			
ゆ の か わ	平成28年10月15日	日吉南団地町会館	地域包括支援センターの役割・業務内容、認知症の予防について	19	2	2	100.0%
	平成29年2月25日	市営深堀団地集会室	地域包括支援センターの役割・業務内容、認知症の方を詐欺被害から守るために	27			
た か お か	平成29年3月16日	百寿会館	地域包括支援センターの紹介、介護保険制度(総合事業)・火災予防リーフレット・ご近所の見守り、支え合いについて	17	2	2	100.0%
	平成29年3月18日	滝沢町会館	地域包括支援センターの紹介、高齢者の住まい・転ばぬ先の杖～転倒予防について～	15			
西 堀	平成28年7月22日	西堀病院	お口や歯の悩みと在宅歯科診療について	9	2	2	100.0%
	平成28年12月7日	富岡1丁目町会館	高齢者の食事、調理実習	14			
亀 田	平成28年10月20日	コミュニティはなはな	これから来る介護のために知っておきたいこと～制度について、タッチケアについて～	17	2	2	100.0%
	平成28年11月25日	北美原町会館	高齢者向け住宅や施設についての講話と見学、昼食試食会	17			
神 山	平成28年8月25日	神山町会館	介護技術と福祉用具について	5	2	2	100.0%
	平成28年12月21日	神山町会館	カルシウムに特化した料理、調理実習	7			
よ ろ こ び	平成28年7月15日	亀田町民会館	介護サービス・福祉用具・住宅改修について	32	3	2	150.0%
	平成28年10月5日	老人保健施設喜郷	介護保険制度、高齢者施設と住宅について	31			
	平成28年11月6日	桔梗西部町会館	介護サービス・福祉用具・住宅改修について	38			
社 協	平成28年5月30日	函館市社会福祉協議会指定通所介護事業所とい	車椅子からベッドへの移乗方法、介護保険制度を利用した住宅改修と福祉用具購入について	15	3	2	150.0%
	平成29年2月8日	女那川会館	健康チェック、認知症・介護保険サービス利用の流れについて	20			
	平成29年3月1日	介護付有料老人ホームほのほの		19			
合 計				478	23	20	115.0%
平成27年度実績				285	13	12	108.3%

(2) 住民に対する広報・啓発活動(延数)

(回)

センター名	出前講座 講師派遣	広報紙 パンフレットの配布
あさひ	0	5
こん中央	1	0
ときとう	3	1
ゆのかわ	9	2
たかおか	1	2
西堀	1	9
亀田	0	3
神山	1	1
よろこび	6	1
社協	16	0
合計	38	24
平成27年度実績	18	23

2 住宅改修支援事業

(1) 住宅改修支援状況(延数)

(回)

センター名	支援回数
あさひ	28
こん中央	11
ときとう	12
ゆのかわ	44
たかおか	21
西堀	7
亀田	23
神山	17
よろこび	21
社協	21
合計	205
平成27年度実績	193

(2) 住民に対する広報・啓発活動(延数)

(回)

センター名	出前講座 講師派遣	広報紙 パンフレットの配布
あさひ	1	5
こん中央	0	13
ときとう	0	9
ゆのかわ	0	4
たかおか	0	4
西堀	1	2
亀田	0	1
神山	0	1
よろこび	0	0
社協	3	4
合計	5	43
平成27年度実績		6